

京大リウマチ通信

第18号 京都大学医学部附属病院 リウマチセンター



2017.4.27 文責：田中

リウマチ患者さんのワクチン接種について



ワクチンとはなに？

病気の原因となるウイルスや細菌の毒性を無くしたり弱めたりしたもので、抵抗力（免疫）だけをつけられるようにしたものです。



受けてよいワクチンといけないワクチンがある！

治療の種類にかかわらず受けてよいワクチンは、**不活化ワクチン**です。これは細菌やウイルスを殺して毒性をなくし、抵抗力（免疫）をつけるのに必要な成分を取り出してワクチンにしたものです。このワクチンには**インフルエンザワクチン、肺炎球菌ワクチン、B型肝炎ワクチン**などがあります。

治療の種類によっては受けてはいけないワクチンは、**生ワクチン**です。これは生きた細菌やウイルスで毒性を弱めたものです。毒性を弱められた細菌やウイルスが体内で増殖して免疫を高めていきます。**麻疹ワクチン、風疹ワクチン**などがあります。接種すると健康な人でもまれに軽い症状がでることがありますので、**メトトレキサート（リウマトレックス®、メトレート®）**や生物学的製剤などで免疫を抑える治療をしている患者さんは、**受けないでください。**



ワクチンの効果は変わりませんか？

日本で使用できる生物学的製剤では、その種類やメトトレキサートとの併用で軽度ながら効果が落ちるという報告もありますが、治療をしない健康な人と比べ実際には効果はあまり変わらないと考えられています。



おすすめのワクチンは？

1. インフルエンザワクチン

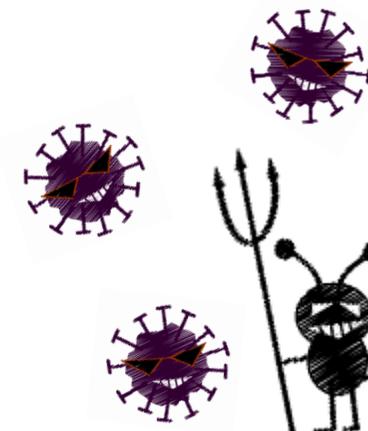
リウマチ患者さんでは、肺炎などの合併症のリスクが増加するので、受けることを強くおすすめします。



2. 肺炎球菌ワクチン

2014年10月より65歳以上の高齢者の定期接種の対象ワクチンに指定されています。患者さんに限らず、高齢者の肺炎球菌肺炎の予防効果は明らかですので、受けることをおすすめします。

（医学系・看護系の学生さんは、血液検査で麻疹・風疹の抗体がない場合、実習に際して予防接種が義務付けられています。接種できない場合はその理由の診断書が必要になりますので主治医とご相談下さい。）



新しい先生のご紹介



村田 浩一 先生

整形外科医として診療に当たっていますが、最初の1年間は免疫・膠原病科をはじめとする内科研修を受けさせて頂いています。薬物治療や手術介入など個々の患者様の状態に応じた最適な治療を提供していきたいと思っています。

整形外科でスポーツ・膝関節外科を専門にしてきました。今年からリウマチ患者さんの診療にも携わるようになりました。外科医の立場でリウマチ患者さんの機能回復の相談ができればと思います。笑顔で患者さんに接して患者さんにも笑顔になってもらえると嬉しいです。



西谷 江平 先生



村上 孝作 先生

免疫・膠原病内科の村上孝作と申します。2017年4月よりリウマチセンター火曜日外来を担当させていただきます。病気によって生じる炎症を抑える、副作用の少ない治療薬の開発について研究しています。患者さん一人ひとりの丁寧な診療を心がけています。

免疫・膠原病内科の山本と申します。4月からリウマチセンターで「拳児希望外来」を始めさせていただきました。リウマチ・膠原病と妊娠について、ゆっくり時間をとってご説明できたらなと思っています。興味のある方はぜひお越しくださいね。



山本 奈つき 先生



第18回リウマチ教室のお知らせ

今回は、4月より京大病院リウマチセンターに新設された拳児希望外来を担当する山本奈つき先生による「**妊娠希望がある場合のリウマチ膠原病の治療**」のお話しです。

将来、妊娠・出産を希望されるリウマチセンター、免疫・膠原病内科（他院を含む）に通院中の患者さん及びそのご家族が対象です。ぜひ、ご参加ください。

日 時： 平成29年6月28日（水）

場 所： 集団指導室（外来棟3階）



受付時間

午前8時15分～午前11時00分

診察室	月	火	水	木	金
108室	橋本	村上	田中	橋本	田中
109室	西谷		村田/伊藤	伊藤	村田（第2・4）
110室	山本				

リウマチに関するご質問、「リウマチ通信」や「リウマチ教室」で特集してほしいテーマがありましたら、外来主治医または外来秘書にお気軽にお申し出下さい。

お問い合わせは…

京都大学医学部附属病院 リウマチセンター

代表電話 075(751)3111 予約電話 075(751)4891

〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町54

